

## 天満橋駅(地下鉄谷町線)①

## 天満橋から大塩平八郎ゆかりの地へ

天満橋駅(京阪本線・中之島線) 大阪天満宮駅(JR東西線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その1 No.046

## 地下鉄・京阪天満橋駅

## ①八軒家浜

平成20年(2008)、八軒家浜船着場が現在の場所に整備されました。しかし、古くから熊野詣の陸の起点、三十石船の発着地として賑わった八軒家浜は、ここより少し南、土佐堀通りのあたりにありました。敗色濃くなった大塩平八郎が船に乗って逃走したのは、そこからです。



## ②天満橋

天満橋は、大阪天満宮(天満天神)が管理する橋だったことから、「天神橋」とともに、「天満橋」と名づけられました。江戸時代は幕府直轄管理の公儀橋のひとつ。現在は、橋の上をオーバークラスが走る、大阪ではめずらしい2階建ての橋になっています。

## ③大川

大川(旧淀川)は、都島区の毛馬閘門で淀川より分かれ、大阪市の中心部を通って大阪湾に注いでいます。中之島のところで土佐堀川と堂島川に名を変えます。大川は天神祭の船渡御の舞台であるとともに、桜の名所としても有名で、両岸にびっしり植えられた満開のソメイヨシノは圧巻です。

## ④造幣博物館

造幣局の「桜の通り抜け」の通路に面して建っています。明治44年(1911)に火力発電所として建てられたもので、造幣局内に現存する唯一の明治時代の洋風レンガ造りです。入館料無料。

## ⑤造幣局旧正門

明治4年(1871)、ウォートルスの設計で造られた造幣寮の正門です。門の隣の八角形の建物は、衛兵の詰所でした。

## ⑥大塩の乱・槐(えんじゆ)の碑

天保8年(1837)、拳兵した大塩方の第1発目の砲弾が撃ち込まれたのが、この場所にあった槐



の木です。大塩屋敷の向かいの与力宅の裏庭にあった木でした。大きく裂けたと伝わりますが、昭和59年(1984)、車の排ガスの影響で枯死しました。

## ⑦洗心洞跡

大塩平八郎が自宅で開いていた私塾「洗心洞」跡の碑が、造幣局の敷地内に建てられています。大塩の乱のときは、ここから出陣。最初に火の手が上がりました。

## ⑧与力役宅門

東町奉行配下、天満与力の中嶋家の門です。平成12年(2000)に改築されています。

## ⑨川崎東照宮跡

元和3年(1617)に松平忠明が建立。全国に造られた500社以上ある東照宮のひとつです。大塩方は拳兵当日、この場所に集してから大坂城を目指して南下しました。

## JR大阪天満宮駅

